

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年 2月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ過により、地域との関わりが薄く、地域住民と入居者の交流機会が少なくなっており閉鎖的になっている。	地域住民との交流の機会を増やし、地域と協力し合いながら大きな家族のような中で入居者様が楽しく笑って過ごせるよう支援していく。	現状、交流の場が少なく難しいが、感染対策を徹底した上で、地域の行事やボランティア活動への参加を行い、交流の機会を作る。	6ヶ月
2	7	過去に不適切なケアを行っていた事例もあり、現在委員会・所内研修を活用し、職員全体で身体拘束・高齢者虐待防止への意識共有を行っているが、意識だけではなく正しい知識を学ぶ機会を増やしていく。	身体拘束・高齢者虐待に関する知識向上を行い、入居者様が安心して過ごせる空間を提供。	外部で開催している研修を活用し、知識向上を図る。また、学んできた事を施設職員に情報共有し、施設全体の意識をあげる。	6ヶ月
3	35	施設近辺に淀川があり、水害被害発生地域にしていされている為、避難場所・経路・対策を全職員周知しておく必要がある。また、その他災害時も同様に災害ごとの対応を身に付けておく。	災害発生時、入居者様が安全に避難、又は生活できる環境を作る。	災害マップや避難経路の周知徹底。災害発生時に駆け付けられる職員をあらかじめ決めておく。近隣住民に協力を依頼できる関係作りを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。